

当社リリース「韓国子会社における CVD-SiC 事業からの撤退に関するお知らせ」に関する件

2019年4月16日付の掲題のリリースにつきまして、ステイクホルダーの皆様からのご質問の多い内容について、補足説明として纏めましたので、以下の通り回答させていただきます。

記

ご 質 問	「韓国連結子会社 Ferrotec Advanced Materials Korea Corporation (以下、「FTAK」といいます。)に関しては、工場閉鎖などを伴う「完全撤退」と言う認識で良いのか?それとも CVD-SiC 事業からの撤退と言うことなのか?」
回 答	「FTAK に関しては、CVD-SiC 製品の「開発」と「生産」のみから撤退するものであり、工場閉鎖を伴った韓国からの完全撤退ではございません。なお、リリース文面に記載の通り、当該事業からの撤退に伴い、現在、FTAK において他の事業を行うことを検討しております。代替事業が決定し、かつ韓国の行政当局の承認が得られ次第、速やかにお知らせいたします。」

ご 質 問	「フェローテックグループとして、CVD-SiC 事業に対する今後の市場見通し、生産対応はどのように考えているのか?」
回 答	「今回の事業撤退は FTAK における同事業に限定したものであり、弊社 100%子会社のアドマップ(岡山県玉野市)では、引き続き日本国内で同製品の生産を行ってまいります。また、同製品については、昨今の半導体チップの細線化や多層化プロセスの増加に伴い、半導体装置メーカーや半導体チップメーカーでの需要が今後も拡大する事が期待される事から、当社グループでも中長期的な事業拡大に引き続き取り組んでまいります。なお、主要な販売先(市場)は、日本、米国、欧州、アジアなどです。」

ご 質 問	リリース本文内の「昨今の韓国における日系企業に対する司法判断等を鑑みた場合、同国における司法判断の独立性が完全に担保されない懸念があることから、ステイクホルダーの皆様へ与える影響を考慮し、潜在的なリスクを現段階で最小化することが最も適切であると判断し、この度の決議に至ったものであります。」の趣旨について説明してほしい。
回 答	「心証等が司法判断へどの程度影響を及ぼすのか、弊社では判りかねる為、そのような表現にさせていただきましたが、当社としましては、韓国の司法制度に対する批判等を意図して記載したものではありません。」